

枠を超えた、知の冒険

国立大学の研究所・センターは、
理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。

最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2019

国立大学附置研究所・センター会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧



国立大学附置研究所・センター会議
<http://www.shochou-kaigi.org/>



Web連載インタビュー
「未踏の領野に挑む、知の開拓者たち」
<http://shochou-kaigi.org/interview/>



●お問い合わせ 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所
〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 TEL 045-924-5734 FAX 045-924-5973

Message 2019年度会長挨拶

2019年度の「国立大学附置研究所・センター会議」の会長を務めることになりました、東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所の久堀徹です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、60年余りの歴史を持つ「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を承継し、国立大学が法人化された2004年度に発足しました。2019年4月現在、全国の国立大学法人に設置された98(30大学)の附置研究所と研究センターで構成されています。

国立大学の附置研究所およびセンターは、様々な学問分野において、それぞれがトップレベルで学術研究をリードすることを使命として、先端的な研究課題、多様な学際的研究、長期的な視野に基づく基礎研究などに取り組んでいます。また、その多くが共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究者コミュニティに開かれた研究支援体制を整備し、研究の基盤ならびに共同研究の機会を提供することで、個々の大学の枠を超えて我が国の学術研究を支えています。さらに、先端研究の場を学生や若手研究者に積極的に開放し、次世代研究者の育成にも大いに貢献しています。

本会議は、これまで我が国の学術研究の発展に向けた重要な提言や要望を発信してきました。また、各研究所・センターのユニークな研究活動をウェブサイトで紹介するとともに、公開シンポジウムを開催することによって情報発信にも力を入れています。今後もさらに「研究の見える化」を推進することにより、附置研究所・センターが担っているそれぞれの学問分野における研究の動向を、広く皆様に知っていただきたいと考えています。

私たちは、附置研究所・センターがわが国の学術研究の中核としての役割を担っていることを強く認識し、引き続きその発展に貢献したいと考えております。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2019年度会長

東京工業大学

科学技術創成研究院

化学生命科学研究所

久堀 徹 所長

第一部会の活動

Science and Technology

1

①材料科学国際共同利用・共同研究拠点の発足

国内外の研究者・機関を結合した材料科学分野の国際的な協業体制であるマテリアルリサーチオープンアライアンス (Materials Research Open Alliance, MAROA) を形成し、我が国の材料科学分野の研究力強化を先頭に立って取り組むとともに、国際的に認知される若手人材の育成を目指します。(東北大學 金属材料研究所)

②多重複合型スーパーコンピュータ Cygnus の導入

GPU と FPGA の 2 種の演算加速器を搭載した新時代の多重複合型スーパーコンピュータ Cygnus を開発製作した。Cygnus は、GPU のみを搭載した Deneb ノード 48 台と GPU と FPGA の両方を搭載した Albireo ノード 32 台からなり、総ピーク演算性能は 2.4 PFLOPS で

ある。Cygnus によって、様々な計算科学分野で大規模計算が推進されている。(筑波大学 計算科学研究中心)

③物質の質量起源の解明へ導くマイルストーン

スイス・CERN 研究所の世界最高エネルギー加速器 LHC は、2018 年までの第 2 期実験 (Run2) で約 1.5 京回の衝突データを取得し、その規模は ATLAS 実験で 500PB にも及ぶビッグデータとなりました。2018 年には、前年までのデータを解析し、ヒッグス粒子が力を伝える素粒子ばかりでなく、物質を構成する素粒子にも質量を与えていたことが判明し、宇宙を支配している非常に特徴的な粒子であることが分かりました。Run2 のデータ量と機械学習等の解析技術の改善によって、発見感度向上に結び付いた成果と言えます。(東京大学 素粒子物理国際研究センター)

④安心な社会構築のための原子力研究

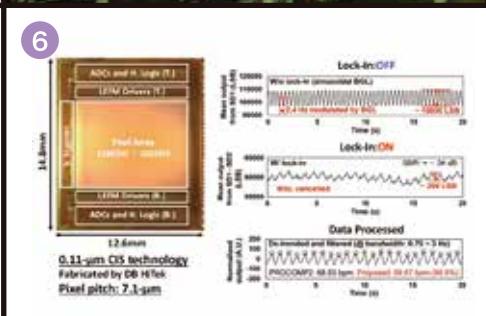
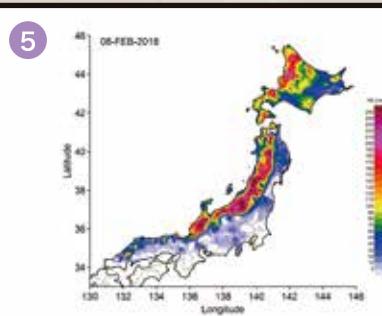
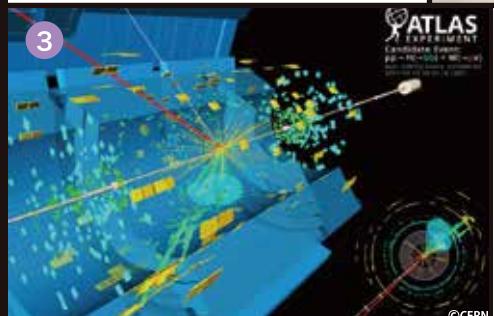
「革新的原子力システム」、「アクチノイドマネジメント研究」、「グローバル原子力セキュリティ研究」、「高度放射線医療研究」及び原子力基礎・基盤研究の実施。別添写真は、中性子を発生させて核変換させるための実験を行なう「ベレtron 加速器」。(東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所)

⑤準リアルタイム積雪分布監視システム

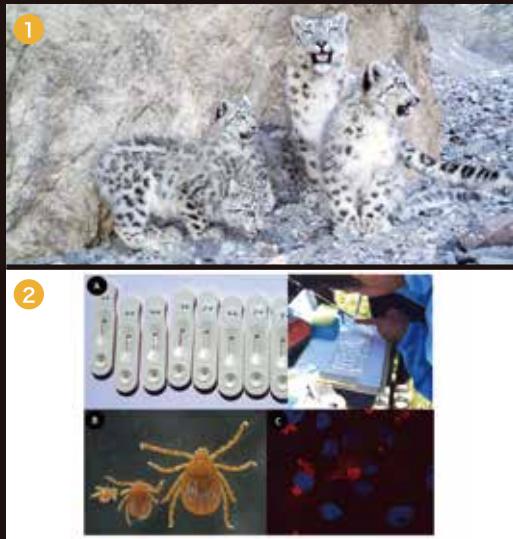
多機関の積雪深データ（全国約 2300 観測点）を自動的に集約・分布図化する「準リアルタイム積雪分布監視システム」を開発し、2012 年度から運用している。積雪期の防災減災に資するため、本システムで作成された詳細な積雪深分布図をホームページ上で公開している。2016 年度からは、1 時間、3 時間、6 時間の降雪量分布図も公開しており、局地的かつ極端な大雪の検出が可能となった。(新潟大学 災害・復興科学研究所)

⑥非接触で心拍変動を測る近赤外イメージセンサを開発

近赤外パルス照明光に同期し、画素内で光電荷を複数の出力にナノ秒オーダーの高速で振分けでき、しかも高感度で光検出が可能な CMOS イメージセンサを開発しました。このセンサを搭載したカメラを用い、照明光の 50 倍の強度で変動する背景光の下、顔の映像から心拍変動を計測することと、その周波数解析によるストレス指数の算出に成功しました。(静岡大学 電子工学研究所)



2



①ユキヒョウの絶滅を防ぎたい！

大型動物を保全するためには、個体ごとの繁殖状況の情報が必須です。キルギス共和国において、標高3,000m付近の岩山で採取したユキヒョウの糞から、現場でホルモン濃度を測定する手法を確立しました。これにより、野生動物の繁殖生理を非侵襲および簡易的に分析できる可能性が見出されました。(京都大学 野生動物研究センター)

②家畜原虫病の制圧に向けて！

- A:ウマトリリバノソーマ症診断が可能なイムノクロマトキットを開発し、モンゴル国で製造販売の許可を受けました。
 - B:マダニバイオバンクの整備を進めています。
 - C:家畜病原性寄生虫ネオスボラの病原性因子を発見しました(病原性因子NcGRA7の宿主細胞内への分泌:赤、宿主細胞の核:青)。
- (帯広畜産大学 原虫病研究センター)

③新たな学問領域である「疾患免疫学」の創出

原因不明の難病である自己免疫疾患やアレルギーなどの原因を明らかにするために、免疫細胞による新たな抗原認識機構を探索する新学術領域研究「ネオ・セルフ」を立ち上げ、構造生物学、ゲノム科学、内科学などの幅広い分野の研究者が協力して、新たな学問領域である「疾患免疫学」の創出と推進に取り組んでいます。(徳島大学 先端酵素学研究所)

第三部会の活動

Humanities and Social Science

3



①ベトナム・メコンデルタ地域での肥料の調達や利用状況に関するヒアリング

一橋大学経済研究所の有本寛准教授(右列奥から2人目)が、ベトナム・メコンデルタ地域で、農家や技術普及員から肥料の調達や利用状況に関する聞き取りをおこなっている様子(2018年8月)。当該地域では、粗製肥料の流通と肥料の過剰投入が課題となっている、本研究は現在も継続中である。(一橋大学 経済研究所)

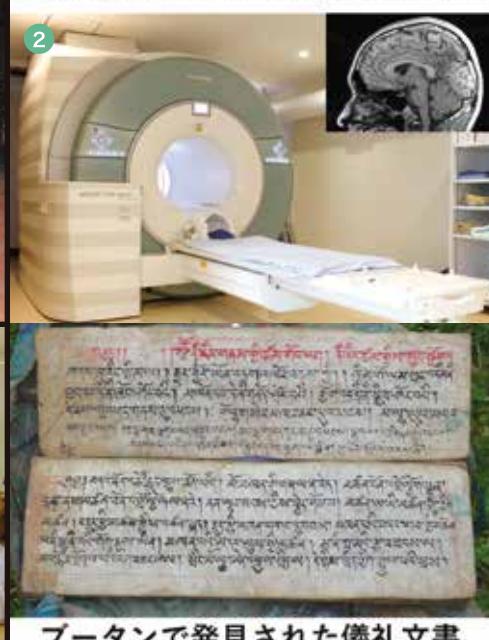
②脳機能研究・古文書による仏教研究

当センターでは現代の複雑化した状況に直面する人間の「こころ」に焦点をあて、議論を国内外に発信する京都こころ会議を毎年開催しています。2018年は「こころと生き方:自己とは何か」をテーマに実施しました。心理学のほかは、MRI装置を用いた脳機能研究、古文書による仏教研究など、多様なアプローチでこころを研究しています。(京都大学 こころの未来研究センター)

③高等教育研究の国際会議を開催

本センターは2022年に創立50周年を迎えます。アジア初の高等教育分野の研究センターとして設立された本センターは、国際交流のハブとして、国際会議を多数開催しています。比較的少人数の組織ですが、高等教育の独立の研究センターとしては、世界的に見て規模は大きい方で、その期待と責任は大です。(広島大学 高等教育研究開発センター)

連携MRI研究施設における脳機能研究



ブータンで発見された儀礼文書

1

理工学系 第1部会の研究所・研究センター Science and Technology

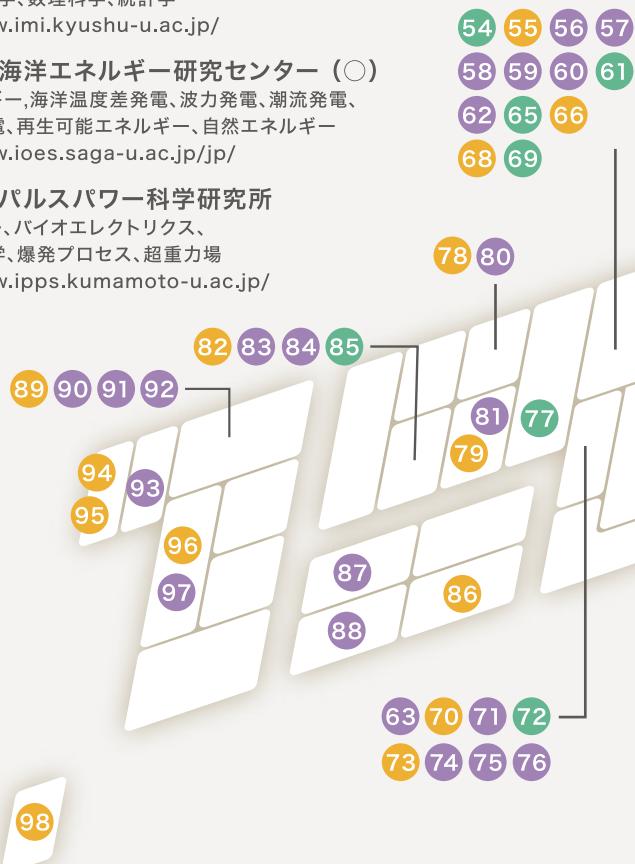


第1部会シンポジウム
2019年10月4日(金)～5日(土)
担当機関:高知大学 海洋コア総合研究センター

2019年度 第一部会長
東京大学 空間情報科学研究センター
瀬崎 薫 センター長

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圈、水・物質循環、雪氷、宇宙物質、生物環境、環オホーツク
<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
複合領域ナノサイエンス
<http://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、
高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 7 北海道大学 北極域研究センター (○)
北極域、大気圏・水圏、陸圏、雪氷圏、環境工学、
人文社会学、衛星観測・モデリング
<http://www.arc.hokudai.ac.jp/>
- 9 東北大大学 金属材料研究所 (※)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価、
エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 11 東北大大学 流体科学研究所 (○)
流体、運動、環境・エネルギー、人・物質マルチスケールモビリティ、
健康・福祉・医療・エアロスペース、ナノ・マイクロ、融合研究
<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大大学 電気通信研究所 (○)
情報デバイス、ブロードバンド通信、人間情報システム、
システム・ソフトウェア工学、ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、
ブレインウェア
<http://www.rie.tohoku.ac.jp/ja/>
- 13 東北大大学 多元物質科学研究所 (○)
多元物質科学、有機・無機ハイブリッド材料、プロセスシステム・
デバイス工学、先端計測技術開発、ネットワーク型共同研究拠点
<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/>
- 14 東北大大学 災害科学国際研究所
災害科学、復旧・復興、地震、津波、自然災害、災害医学、レジリエンス
<http://irides.tohoku.ac.jp/index.html>
- 16 東北大大学 電子光物理学研究センター (○)
原子核物理、ハドロン物理、不安定核科学、放射化学、ビーム物理学、
高エネルギー電子加速器、電子光ビーム
<http://www.lns.tohoku.ac.jp/>
- 17 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 22 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、気候変動、モデル統合
<http://www.cr.chiba-u.jp/>
- 24 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山、津波、地球内部構造、地球内部ダイナミクス、
自然災害、観測固体地球科学
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 27 東京大学 生産技術研究所
生産技術全般、生産連携研究、国際連携研究、基礎系、機械・生体系、
情報・エレクトロニクス系、物質・環境系、人間・社会系
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 30 東京大学 宇宙線研究所 (※)
宇宙線、ニュートリノ、重力波
<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 31 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、新物質、ナノサイエンス、量子ビーム、
強磁場、光科学、計算物質科学
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 先端科学技術研究センター
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 34 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、
国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、
超対称性理論、統一理論
<http://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 35 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
GIS、時空間解析、時空間センシング、空間データ基盤
<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/index.html>
- 36 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 (○)
バイオマテリアル、医療デバイス・システム、生体機能分子、生体医歯工学
<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>
- 39 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 (○)
グリーンケミストリー、機能性分子、バイオマス資源、
省エネルギー、超分子、生体分子、医用工学
<http://www.res.titech.ac.jp/index.html>
- 40 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 (○)
知能化工学、情報イノベーション、電子機能システム、創形科学、
量子ナノエレクトロニクス、フォトニクス集積システム、先進メカノデバイス、
融合メカノシステム、先端材料、都市防災、異種機能集積、生体医歯工学
<http://www.first.iir.titech.ac.jp/index.html>
- 41 東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所 (○)
セラミックス、機能性酸化物、先端材料、建築構造・材料、耐震・制振
<http://www.msl.titech.ac.jp/index.html>
- 42 東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所
原子力エネルギー、量子・粒子線科学、革新的原子力システム、
原子力安全・セキュリティ、核燃料サイクル、
使用済み核燃料および放射性廃棄物処理・処分、同位体科学、原子力材料、
放射線医療応用・生物影響
<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/jp/index.html>
- 45 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水災害、
複合連動災害、減災対策、復興、危機管理
<http://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 48 金沢大学 環日本海域環境研究センター (○)
越境汚染、国際共同研究拠点、統合環境研究、有害化学物質、
大気観測スーパーサイト、低レベル放射能計測
<http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>
- 49 静岡大学 電子工学研究所 (○)
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<http://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 50 静岡大学 グリーン科学技術研究所
グリーンエネルギー創成、最適化エネルギー・ネットワーク、
環境ストレスマネジメント、ゲノム科学、機能性分子の発見・設計・創成、
ナノバイオ科学
<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>
- 52 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的省エネルギー技術、高度計測技術、次世代半導体材料・デバイス、
持続可能な社会のためのシステム技術
<http://www.iamass.nagoya-u.ac.jp/>

- 53 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (○)**
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、
気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>
- 56 京都大学 化学研究所 (※)**
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、
ビーム科学、および学際プラットフォーム
<https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>
- 57 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)**
ゼロエミッションエネルギー、プラズマ・量子エネルギー、
ソフトエネルギー、核融合エネルギー利用、
高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、
広帯域エネルギー科学
<http://wwwiae.kyoto-u.ac.jp/>
- 58 京都大学 生存圏研究所 (○)**
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、
太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、
循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>
- 59 京都大学 防災研究所 (○)**
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、
火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>
- 60 京都大学 基礎物理学研究所 (○)**
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論、量子情報理論
<http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>
- 62 京都大学 数理解析研究所 (※)**
数学、数理科学
<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>
- 63 京都大学 複合原子力科学研究所 (○)**
研究用原子炉、加速器、核エネルギー利用、放射線利用、
複合原子力科学
<https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 大阪大学 産業科学研究所 (○)**
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、
生体科学、分子科学、ナノテクノロジー、AI
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>
- 74 大阪大学 接合科学研究所 (○)**
接合科学、溶接・接合技術、国際研究連携、ものづくり基盤技術、
産学共創事業
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>
- 75 大阪大学 レーザー科学研究所 (○)**
レーザー科学、プラズマ科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学
<http://www.ile.osaka-u.ac.jp/jp/index.html>
- 76 大阪大学 核物理研究センター (※)**
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学
<https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>
- 80 岡山大学 惑星物質研究所 (○)**
惑星科学、惑星深部、高温高压実験、鉱物・マグマ・流体物性、
主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー
<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>
- 81 岡山大学 異分野基礎科学研究所**
数理科学、量子宇宙、光合成、構造生物学、錯体化学、超伝導、
有機エレクトロニクス材料、理論科学
<http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>
- 83 広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 (○)**
ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学
<http://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/modx/index.html>
- 84 広島大学 放射光科学研究センター (○)**
放射光、超伝導、スピノ・物性・生命異分野融合、
高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/>
- 87 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)**
超高压実験、第一原理計算、地球ダイナミクス、鉱物物性、
相転移、地球深部、マントル、核、レオロジー、地球深部水、
スーパーース、惑星科学、ダイヤモンド、新物質合成
<http://www.grc.ehime-u.ac.jp/>
- 88 高知大学 海洋コア総合研究センター (○)**
国際深海科学掘削計画(IODP)、地球掘削科学、
地球環境システム変動、海底資源学、海洋天然物化学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>
- 90 九州大学 応用力学研究所 (○)**
応用力学、核融合力学、新エネルギー力学、地球環境力学
<http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>
- 91 九州大学 先導物質化学研究所 (○)**
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、
炭素材料、エネルギー・デバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>
- 92 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 (○)**
産業数学、数学、数理科学、統計学
<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>
- 93 佐賀大学 海洋エネルギー研究センター (○)**
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、
洋上風力発電、再生可能エネルギー、自然エネルギー
<http://www.foes.saga-u.ac.jp/jp/>
- 97 熊本大学 パルスパワー科学研究所**
パルスパワー、バイオエレクトリクス、
極限物性科学、爆発プロセス、超重力場
<http://www.pps.kumamoto-u.ac.jp/>



セントラル部会別一覧

Institutes and Centers of
National Universities

2

医学・生物学系 第2部会の研究所・研究センター Medical and Biology

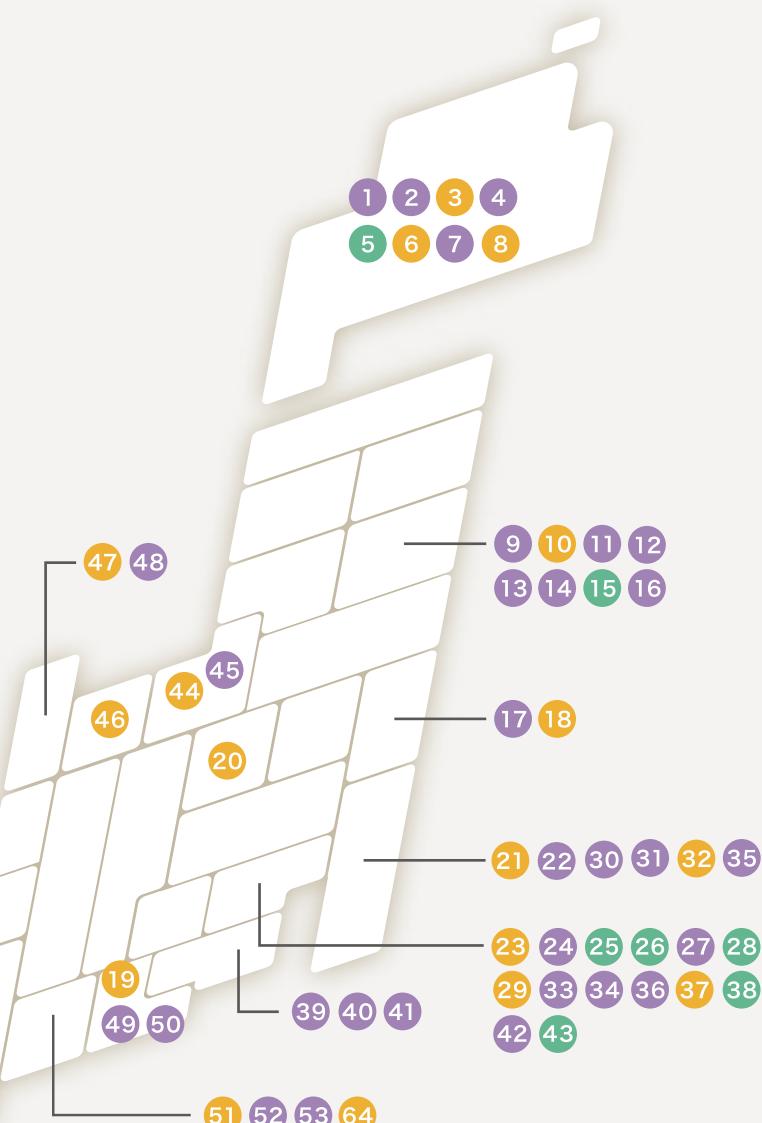


2019年度
第二部会長
北海道大学
人獣共通感染症
リサーチセンター
鈴木 定彦 センター長

第2部会シンポジウム

2019年11月8日(金)~9日(土)

担当機関: 富山大学 和漢医薬学総合研究所



- 3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)**
感染癌、免疫学、感染症、腫瘍、炎症、基礎医学、生命科学
<http://www.igm.hokudai.ac.jp/>
- 6 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター (○)**
人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<http://www.czc.hokudai.ac.jp/>
- 8 蒂広畜産大学 原虫病研究センター (○)**
原虫病、ベクター、OIEコラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<http://www.obihiro.ac.jp/~protozoa/index.html>

- 10 東北大学 加齢医学研究所 (○)**
加齢制御、腫瘍制御、脳科学、スマート・エイジング、医療機器開発
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>
- 18 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター (○)**
遺伝資源、遺伝子組換え植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>
- 19 筑波大学 下田臨海実験センター**
海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、
海洋生態、海洋環境、海洋酸性化
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>
- 20 群馬大学 生体調節研究所 (○)**
内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>
- 21 千葉大学 真菌医学研究センター (○)**
病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp>
- 23 東京大学 医科学研究所 (※)**
医科学研究、感染症、免疫学、がん研究、ヒトゲノム解析、疾患システム研究、
再生医療、プレシジョン・メディシン、遺伝子・細胞治療、ELSI研究、
トランスレーションナル・リサーチ、医療ビッグデータ解析、AI支援医療
<http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>
- 29 東京大学 定量生命科学研究所**
構造生物学、ゲノム科学、脳科学、データ再現性
<http://www.iam.u-tokyo.ac.jp/>
- 32 東京大学 大気海洋研究所 (○)**
海洋、大気、地球科学、気候変動、海洋生物資源、地球生命圈
<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>
- 37 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 (○)**
難治疾患、基礎生物学、ゲノム応用医学、難治病態、先端分子医学
<http://www.tmd.ac.jp/mri/>
- 44 新潟大学 脳研究所 (○)**
基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、
統合脳機能、神経病理学、ヒト脳科学、システム脳病態学
<http://www.bri.niigata-u.ac.jp/>
- 46 富山大学 和漢医薬学総合研究所**
漢方医学、伝統医学、複合薬剤、天然薬物、病態薬効解析、
生薬成分分析、データベース
<http://www.inm.u-toyama.ac.jp/index-j.html>
- 47 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)**
がん転移、薬剤耐性、微小環境、幹細胞、分子標的
<http://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>
- 51 名古屋大学 環境医学研究所**
次世代創薬、ストレス受容・応答、生体適応・防御、
新規治療法・予防法、心血管、脳神経系、内分泌、代謝、ゲノム制御
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>
- 55 京都大学 ウィルス・再生医科学研究所 (○)**
ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学、再生生物学、
幹細胞、医工学、再生医療
<http://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>
- 64 京都大学 靈長類研究所 (○)**
靈長類の総合研究、人間の進化、学際的研究、国際化
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

3

人文・社会科学系
第3部会の研究所・研究センター
Humanities and Social Science

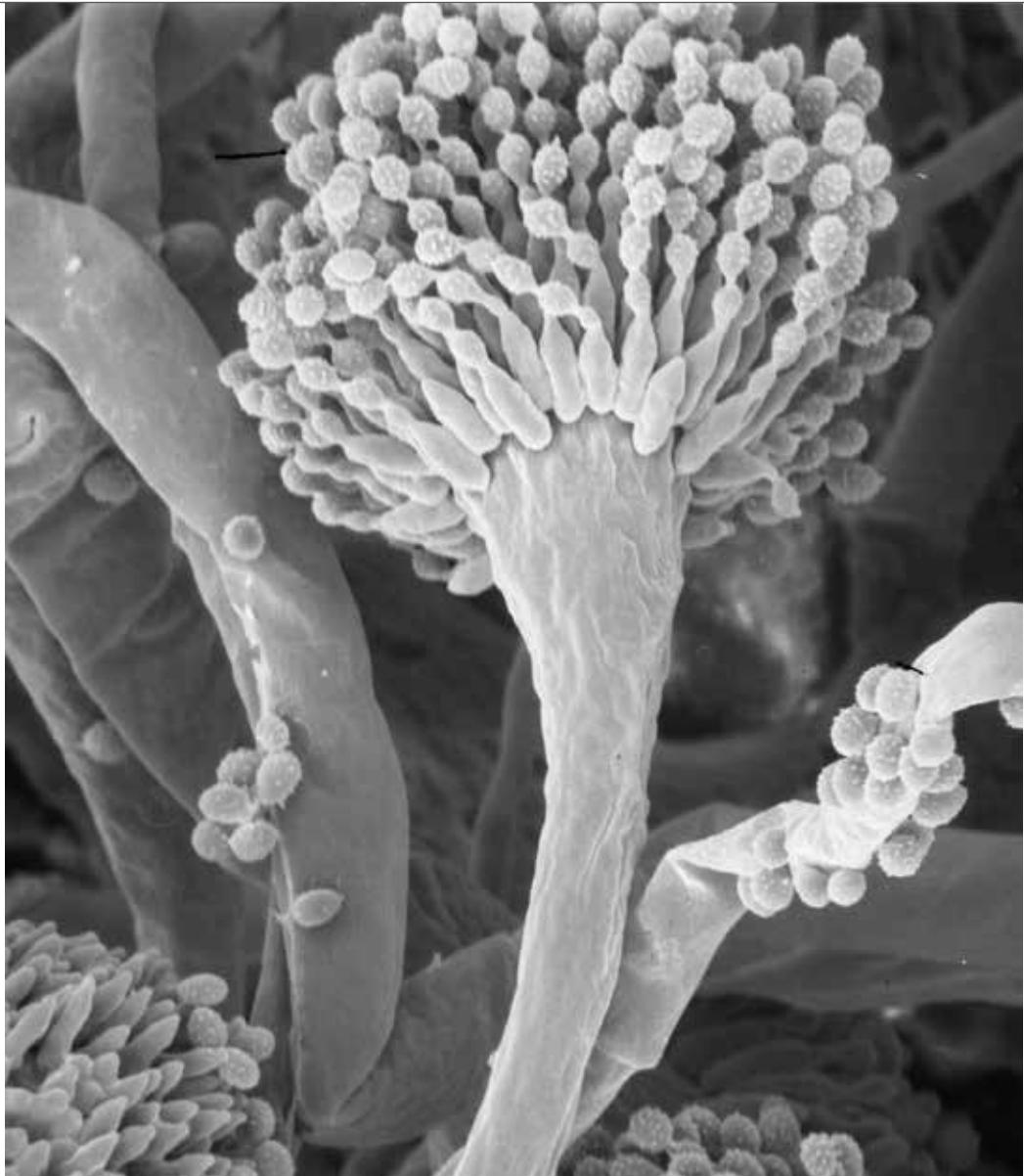
第3部会シンポジウム
2019年10月18日(金)

担当機関:東京大学 東洋文化研究所



2019年度
第三部会長
東京大学
東洋文化研究所
榎屋 友子 所長

- 66 京都大学 iPS細胞研究所 (○)**
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>
- 67 京都大学 生態学研究センター (○)**
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<http://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 68 京都大学 野生動物研究センター (○)**
野生動物、フィールドワーク、動物園・水族館、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 70 大阪大学 微生物病研究所 (○)**
感染症、病原体、免疫、生体防御、
基礎生物学、がん、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 73 大阪大学 蛋白質研究所 (○)**
蛋白質科学、ライフサイエンス、構造・機能生物学、
プロテインデータバンク
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 78 鳥取大学 乾燥地研究センター (○)**
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/index.html>
- 79 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)**
環境ストレス、遺伝資源、ゲノム育種、分子生物学、植物生理、
植物栄養、植物病理、遺伝
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/index-j.html>
- 82 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)**
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線発癌、
ゲノム損傷修復、再生医学、医療放射線被ばく
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm>
- 86 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)**
基礎医学、分子生物学、免疫学、酵素、ゲノム、プロテオーム、
糖尿病、オープンイノベーション
<http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>
- 89 九州大学 生体防御医学研究所 (○)**
多階層生体防御システム、トランスオミクス、システム免疫学、
がん生物学、発生再生医学、神経生物学
<http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/>
- 94 長崎大学 热帯医学研究所 (○)**
熱帯医学、熱帯公衆衛生学、国際保健、災害医療、
ベトナム・ケニア拠点、熱帯医学ミュージアム
<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekkens/>
- 95 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)**
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 96 熊本大学 発生医学研究所 (○)**
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 98 琉球大学 热帯生物圏研究センター (○)**
亜熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、
共生、遺伝資源、感染症
<http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/ja/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)**
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、
中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 15 東北大学 東北アジア研究センター**
東北アジア地域研究、文理連携、自然史、歴史文化、国際関係、
環境資源、応用・社会連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 25 東京大学 東洋文化研究所**
東洋文化、アジア学、国際総合日本学
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 26 東京大学 社会科学研究所 (○)**
社会科学の学際研究、現代日本社会研究、
全所的プロジェクト、社会調査・データアーカイブ
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 28 東京大学 史料編纂所 (○)**
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 38 東京外国语大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)**
少数言語の記録・保存、中東・イスラーム圏、文化人類学、情報資源利用研究、
フィールドサイエンス
<http://www.aa.tufs.ac.jp/>
- 43 一橋大学 経済研究所 (○)**
経済制度、公的統計ミクロデータ、高度実証分析拠点、
世代間問題、長期経済統計
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/>
- 54 京都大学 人文科学研究所 (○)**
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、
中国学、東洋学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 61 京都大学 経済研究所 (○)**
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/jpn/index.html>
- 65 京都大学 東南アジア地域研究研究所 (○)**
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、フィールド・サイエンス、
相関型地域研究、地域情報学
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp>
- 69 京都大学 こころの未来研究センター**
こころの学際研究、心理学、脳科学、人文社会科学、
基礎研究と社会連携
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>
- 72 大阪大学 社会経済研究所 (○)**
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<http://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 77 神戸大学 経済経営研究所**
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融、計算社会科学
<https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 85 広島大学 高等教育研究開発センター**
高等教育研究、大学改革、大学の管理と経営、高等教育政策財政研究、
大学教授職研究
<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>



表紙画像：アフリカの蚊に潜むウイルス

ザンビア共和国に生息する蚊におけるウイルス調査では、これまでに3種類のアルボウイルスの他、多様な新規ウイルスを検出している。直径80nmほどのオルビウイルスの一種（写真上：電子顕微鏡像）がネッタイエカ（写真下）から単離された。（北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター）

裏表紙画像：病原真菌アスペルギルス フミガータス

アスペルギルス フミガータスの分生子形成構造の走査型電子顕微鏡画像。環境中に広く存在する真菌だが、免疫力が低下したヒトに重篤な感染症を引き起こす。（千葉大学 真菌医学研究センター）

「国立大学附置研究所・センター会議」は、
全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して
日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

30の国立大学の98の研究所・研究センターで構成されています。
所属教員数は3,400名を超えます。
理工系中心の第1部会（52研究所・センター）、医学・生物系中心の第2部会（32研究所・センター）、人文・社会系中心の第3部会（14研究所・センター）からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催